

みちのくだより 山形

山形のお勧めスポット

(株)新東京ジオ・システム 調査部
中臺 直之

山形県は、全市町村から湧き出る温泉や、人間将棋、山形花笠まつり、山寺など魅力的な観光地やイベントが沢山あります。その中で、比較的メジャーな観光地から、筆者の体験談を踏まえたお勧めスポットまで、ここで紹介したいと思います。

①若松寺と山寺

(若松寺：山形県天童市大字山元 2205-1)

JR 天童駅から車で15分ほど、天童市の山元地区にあるのが若松寺(じゃくしょうじ 写真-1)です。最上三十三観音の一番寺とされます。奈良時代の和銅元(708)年に、行基菩薩(ぎょうきぼさつ)によって開山され、平安時代に慈覚大師(じかくだいし)(円仁和尚(えんにんわしょう))の手で御堂が山頂から現在の場所に移された、とされています。



写真-1 縁結び祈願 - 若松寺(山形県HPより)

若松寺は、花笠音頭で「めでためでたの若松さまよ」と謳われるように、縁結びの寺として地元では有名です。今では、テレビで紹介されるなどして、住職の元へ握手を求める人たちが次々と訪れるようになり、個人またはグループでご祈祷を受ける「良縁ご祈祷」は予約でいっぱいだそうです。私も初詣で何度か参拝し、現在無事に結婚、二児の父として業務に励んでおります。

(山寺：山形県山形市大字山寺 4456-1)

山形には若松寺のほかにも良縁につながる

るパワースポットがいくつかあります。その一つが、山形市の宝珠山立石寺(山寺)です。観光地としても人気であり、地元では「縁切り寺」として知られています。「縁結びではなく縁切り寺に行く?」と思われるかもしれませんが、「良縁を結ぶために、悪縁を断つ」という意味で前向きにとらえて、観光してみてもはどうでしょうか。ちなみに、山寺は正しくは宝珠山立石寺といい、貞観2年(860)清和天皇の勅願のよって慈覚大師が開いた、天台宗のお山です。写真-2の建物は五大堂といい、五大明王を祀って天下泰平を祈る道場で、山寺で一番の展望台とされます。私も子供の頃に参拝し、苦勞して千段の階段を登り、この展望台までたどり着いた思い出があります。



写真-2 悪縁切りの山寺(山形県HPより)

②熊野大社

(山形県南陽市宮内 3476-1)

日本三熊野の一つに数えられ東北の伊勢とも称される南陽市の熊野大社です。熊野大社は、大同元年(806年)、平城天皇の勅命により再建されたといわれています。その後も時の天皇、法皇の恩恵を受け、のちに天台宗・真言宗・羽黒修験・神道の四派も加わり、熊野修験の霊場としても栄えたとされます。

熊野大社の本殿裏に、うさぎが三羽隠し彫りされています(写真-4)。いわれは詳しくはわかりませんが、うさぎを三羽見

つけた人が次々と大成功を取めたことや、恋や願い事が成就したこと、「願いが叶う」「しあわせになれる」と言い伝えられています。この三羽のうさぎまでは矢印板で案内され、近くの神社の方から説明を聞きました。それによると最後の三羽目の場所は、人から聞いたり、場所を教わってしまうとご利益がなくなるそうです。



写真-3 茅葺屋根の熊野大社



写真-4 熊野大社の本殿裏(三匹の兎)

③庄内夕日の丘オートキャンプ場 (山形県酒田市浜中粮畑 33)

山形道庄内空港 IC 出口を右折(西進)するとすぐに庄内空港と庄内空港緩衝緑地帯エリアに入ります。この緑地帯内に飛行機の離発着を大迫力で楽しめるオートキャンプ場があります。



写真-5 庄内空港より離陸する旅客機

このキャンプ場の雑木林にはカブトムシなどが生息しているそうです。また、湯野浜海水浴場が近く、海水浴や釣りなどへの

アクセスも良好です。特に管理人が24時間常駐しており、夜間でも対応してもらえ安心です(経験談)。キャンプ初心者でも、機材1式をレンタルでき、テントの張り方から教えてもらえます。また、庄内空港の滑走路を1週する遊歩道があるほか、庄内空港緩衝緑地帯にスポーツゾーン(テニスコートやグラウンドゴルフ場など)やヒーリングゾーン(草木や花)などがあり、一日中楽しめます。飛行機大好きな方、キャンプ初心者の方、家族連れにお勧めです。写真-5はまさに夕日に向かって離陸する飛行機を撮影したものです。

④ひがしね あそびあランド

(山形県東根市大字東根乙1119番地の1)

東北中央自動車道東根 IC を出て R287 に沿って東へ進んだ先に「あそびあランド」があります。ここは、東根市が建設した屋外遊技場です。特徴は遊びをリードするプレイリーダーが常駐し、禁止事項をなるべく設けず、子どもたちの自主性、創造性を大切にしてくれるところです。私たちが子どもの頃はよく外で遊びましたが、近年は子どもたちが外で群れをなして遊ぶことが少なくなりました。ここでは、泥だんごづくり、木片工作など自分で遊びをつくることができます(写真-6)。

基本的に無料の施設なので安心して子供達が飽きるまで遊ばせられるお勧めスポットです。



写真-6 木片工作や筏、泥遊びをする子供達